



下北教育事務所  
QRコード

社会教育だより  
「かけ橋」はバックナンバーも含めて下北教育事務所のホームページでご覧になれます。

## レポート

今月号では6～8月に行った3つの研修会を紹介します！

### スポーツ推進委員むつ下北地区研修会

～6月29日(土)むつ市中央公民館～

講義：「食とスポーツで育む健康生活」

講師：東北女子大学 教授 西田 由香 氏

実技：「場が盛り上がる！コミュニケーションづくりに役立つプログラム～ミニテニス～」

講師：むつ・下北地区レクリエーション協会 白川 直人 氏



#### 【講義講師から】

- 生活習慣病は「すごろく」と同じ。毎日の蓄積で、徐々によくなるし悪くもなる。
- ☆成人は「野菜から」食べる。(肥満・糖尿病予防)  
☆高齢者は「おかず(肉・魚)から」食べる。  
※卵1個、豆腐1丁でもよい。(寝たきり防止)  
☆子どもは「三角食べ」でまんべんなく。  
※成長・発育には様々な栄養素が大切。
- 続かなければ意味がない！  
※しっかり朝ごはん、野菜をたっぷり、美味しく楽しく



#### 【参加者の声】

- ・食とスポーツのつながりの大切さを再確認しました。
- ・西田先生の講義に引き込まれました。今日参加して、得した気分になりました。
- ・初めてのミニテニスでしたが、またチャレンジしたいです。年配の方もできるということでお薦めしたいです。

### 学校と地域を結ぶ窓口となる教職員研修(下北地区)

～8月19日(月)大間小学校・大間町総合開発センター～

ユメココ教室：写真業・獣医師・建築業・花屋・葬祭業  
IT関連業

講義：「地域とともにある学校づくりをめざして

～地域学校協働活動の推進～」

情報交換：「地域学校協働活動の充実をめざして

～これからの自校の取組を考える～」

講師：岩手県立大槌高等学校 教育専門官 菅野 祐太 氏



#### 【講師から】

- 地域学校協働活動の成果
  - ・生徒の学力向上につながる。
  - ・コミュニケーション能力の向上、地域理解・愛着の向上につながる。
- 地域学校協働活動は特効薬ではなく漢方薬
  - ・できることから始める。
- 学校と地域の関係
  - ・関係の質を上げる(お互いの強みを理解)
  - ・相互の実践を補完・補強し合う(相手を頼る)
  - ・共通の目標(ビジョン)をつくる
  - ・生まれた成果を振り返る



#### 【参加者の声】

- ・「地域の人だから、見せられる背中がある」との言葉の通りだと思いました。地域の人からの授業は、子どもにとって大きな学びになったと思います。(ユメココ教室)
- ・次年度のコミュニティスクールへの移行に向けて、地域の協力の大切さや新しい風の必要性について感じる事ができた。

### 地域学校協働活動推進員等養成講座(下北地区)

～8月27日(火)むつ来さまい館～



講義・演習

「子どもも大人も学び合い育ち合う地域学校協働活動」

講師 NPO法人まなびのたねネットワーク

代表理事 伊勢 みゆき 氏



#### 【講師から】

- 地域学校協働活動の必要性
  - ・地域の大人と関わり様々な共有体験を通して、子どもたちは自尊感情や自己肯定感を高めることにつながる。
  - ・地域住民の生きがいや自己実現の機会となり、地域の教育力向上と地域の活性化にもつながる。
- コーディネーターの役割
  - ・地域と学校をつなぐパイプ役
  - ・学校のニーズとシーズ(地域資源)のマッチングが大事
- こんなボランティアが喜ばれています！
  - ・小1生活・学習サポーター(新入生の学習や生活の補助)
  - ・安全パトロール(登下校の見守り) 等



#### 【参加者の声】

- ・グループの話合いに慣れていないため、どうなるかと思ったが、年代の違う人との会話や体験は思わぬ収穫になった。

### 子ども民俗芸能大会～東通村大利子ども会出演～

9月8日(日)、青森市のリンクモア平安閣市民ホールにおいて、県内各地の子どもの民俗芸能団体が一堂に会し、日頃の伝承活動の成果を発表しました。下北地区からは、東通村の大利子ども会が出演し、「もちつき踊り(つきあげ)」「下北の能舞(座敷番学)」を披露し、会場から大きな拍手をいただきました。



